



2024年2月期 決算短信(日本基準)(連結)

2024年4月15日

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
コード番号 2798 URL <https://www.ystable.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 船曳 睦雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 武本 尚子

TEL 03-5412-0065

定時株主総会開催予定日 2024年5月28日

有価証券報告書提出予定日 2024年5月29日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期の連結業績(2023年3月1日～2024年2月29日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期	11,284	15.4	179		311	111.5	113	
2023年2月期	9,780		378		147		72	

(注) 包括利益 2024年2月期 113百万円 (%) 2023年2月期 72百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年2月期	34.53		31.6	6.4	1.6
2023年2月期	23.77		69.2	3.0	3.9

(参考) 持分法投資損益 2024年2月期 70百万円 2023年2月期 57百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期	4,715	417	8.9	126.61
2023年2月期	5,020	303	6.0	92.06

(参考) 自己資本 2024年2月期 417百万円 2023年2月期 303百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年2月期	392	120	520	1,792
2023年2月期	470	204	62	2,041

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年2月期		0.00		0.00	0.00			
2025年2月期(予想)								

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,902	6.6	109	30.3	140	6.1	137	75.1	41.60
通期	11,936	5.8	327	82.3	434	39.4	427	275.2	129.56

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年2月期	3,298,400 株	2023年2月期	3,298,400 株
期末自己株式数	2024年2月期	236 株	2023年2月期	236 株
期中平均株式数	2024年2月期	3,298,164 株	2023年2月期	3,045,829 株

(参考)個別業績の概要

2024年2月期の個別業績(2023年3月1日～2024年2月29日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期	11,284	15.4	179		239	167.9	42	
2023年2月期	9,780		378		89		130	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期	12.81	
2023年2月期	42.73	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年2月期	4,628	331	7.2	100.49
2023年2月期	5,006	289	5.8	87.67

(参考) 自己資本 2024年2月期 331百万円 2023年2月期 289百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュフローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(会計方針の変更)	12
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更されたこと等により経済活動の正常化が進んだ一方、円安の進行やウクライナ情勢、イスラエル・パレスチナ情勢等に起因した物価上昇等もあり、景気の先行きは依然として不透明です。

外食産業におきましては、消費者の外食需要が経済活動の正常化につれて回復したものの、2023年7月から8月にかけての猛暑や新型コロナウイルス感染症の感染拡大等による減速もみられました。人手不足や食材費等の価格高騰も続いており、事業環境は依然として厳しい状況です。

このような状況の下、当社グループは、人手不足、コスト高騰、そして事業環境の変化といった課題への対応に取り組んでまいりました。

当連結会計年度におきましては、外食需要の回復や国内外からの旅行客の増加等により売上高は好調に推移してまいりました。8月及び9月においては、昨年から続く物価上昇に加え、猛暑や、新型コロナウイルス感染症の陽性者数の増加等によって消費者の外食需要が減退し、売上高が伸び悩みましたが、10月以降は再び回復基調となりました。なお、前年同期との比較におきましては、前年同期はコロナ禍の影響を強く受けた状況であったことから、売上高、利益ともに大幅に回復しております。

これらの結果、売上高は11,284百万円（前年同期比15.4%増加）、営業利益は179百万円（前年同期は営業損失378百万円）となりました。また、営業外収益として持分法による投資利益70百万円を計上したこと等により、経常利益は311百万円（前年同期比111.5%増加）となりました。特別損失として減損損失213百万円を計上したこと、法人税等調整額△30百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は113百万円（前年同期は親会社に帰属する当期純損失72百万円）となりました。

当連結会計年度におけるセグメントの状況は次の通りであります。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループにおいては、引き続き、高付加価値化の方針のもとでブランド力向上のための企画や、インバウンド需要の取り込みに取り組んでまいりました。8月及び9月にかけては、物価上昇や猛暑、新型コロナウイルス感染症の陽性者数の増加等の影響により売上が落ち込みました。しかし10月以降は回復に転じ、特に第4四半期は企業パーティー等の獲得も好調で、売上は堅調に推移いたしました。なお、前年同期との比較におきましては、前年はコロナ禍の影響を強く受けていたことから、売上高は大幅に増加しております。

この結果、当連結会計年度の同グループの売上高は4,566百万円（前年同期比18.4%増加）、営業利益は395百万円（前年同期比138.0%増加）となりました。店舗数は直営店9店舗となりました。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについても、付加価値の向上と客単価の引き上げに努めてまいりました。イートインの営業につきましては、XEXグループ同様8月及び9月にかけての落ち込みはあったものの、以後は、インバウンド需要の増加や、企業における外食に関するルールの緩和等の追い風を受けて回復いたしました。12月には、忘年会等の需要を取り込んだこと等により、これまで回復にやや遅れが見られていた大型店についても大きく回復いたしました。一方デリバリーの営業につきましては、外食需要の回復に伴って需要が低下したことに加え、デリバリーを行う人手の不足もあり、売上高はコロナ禍前である2019年の水準を下回りました。

この結果、当連結会計年度の同グループの売上高は6,717百万円（前年同期比13.4%増加）、営業利益は676百万円（前年同期比124.7%増加）となりました。

店舗の状況につきまして、出退店では、「PIZZA SALVATORE CUOMO おもろまち」を新規に出店する一方、直営店「SALVATORE CUOMO & BAR 蒲田」及び「STEAK THE FIRST 北新地」、並びにFC店「PIZZA SALVATORE CUOMO 三井アウトレットパーク北陸小矢部」及び「SALVATORE CUOMO & BAR 万座ビーチ」を閉店いたしました。また、FC店であった「PIZZA SALVATORE CUOMO センター南」及び「PIZZA SALVATORE CUOMO 網島」を直営化し、それぞれ、「PIZZA & PASTA SALVATORE センター南」及び「SALVATORE CUOMO & BAR 網島」としてリニューアルオープンいたしました。直営店であった「PIZZA SALVATORE CUOMO 代々木」はFC企業に売却し、「SALVATORE CUOMO & BAR 代々木」としてリニューアルオープンいたしました。このほか、直営店「STEAK THE FIRST 高田馬場」及び「STEAK THE FIRST 四谷」の業態を変更し、それぞれ、「SALVATORE CUOMO & GRILL 高田馬場」及び「とんかつ&焼鳥An 四谷」としてリニューアルオープンいたしました。店舗数は直営店38店舗、FC店28店舗となりました。

③その他

その他は、人材派遣事業（ただし同事業は休眠中）により構成されております。当連結会計年度の同グループの売上高は一百万円（前年同期は売上高一百万円）、営業損失は2百万円（前年同期は営業損失2百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産の状態

当連結会計年度末における流動資産合計は2,807百万円となり、前連結会計年度末に比べ246百万円減少しました。これは主として、短期借入金を返済したこと等による現金及び預金の減少248百万円、売上高の増加による売掛金の増加67百万円等によるものです。

固定資産合計は1,907百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円減少しました。これは主として、減価償却費及び減損損失を計上したこと等による建物及び構築物の減少29百万円、返済を受けたことによる長期貸付金の減少80百万円等によるものです。

この結果、総資産は4,715百万円となり、前連結会計年度末に比べ305百万円減少しました。

②負債の状態

当連結会計年度末における流動負債合計は1,725百万円となり、前連結会計年度末に比べ733百万円減少しました。これは主として、返済による短期借入金の減少721百万円等によるものです。

固定負債合計は2,572百万円となり、前連結会計年度末に比べ314百万円増加しました。これは主として、金融機関借入金の返済期間を長期化したことによる長期借入金の増加314百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,297百万円となり、前連結会計年度末に比べ419百万円減少しました。

③純資産の状態

当連結会計年度末における純資産合計は417百万円となり、前連結会計年度末に比べ113百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益の計上113百万円によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は1,792百万円となり、前連結会計年度の期末残高と比較して248百万円減少いたしました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、392百万円の収入超過（前連結会計年度は470百万円の収入超過）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益85百万円に減価償却費186百万円、減損損失213百万円を加味した上で、売上高の増加による売上債権の増加67百万円、未払消費税等の減少9百万円、仕入債務の増加48万円等があったことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、120百万円の支出超過（前連結会計年度は204百万円の支出超過）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出264百万円、貸付金の回収による収入160百万円、敷金及び保証金の差入による支出41百万円等があったことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、520百万円の支出超過（前連結会計年度は62百万円の支出超過）となりました。これは、短期借入金の減少721百万円、長期借入れによる収入586百万円、長期借入金の返済による支出348百万円等があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の業績予想につきまして、コロナ禍後の売上高の回復が通期で寄与することを見込み、既存店売上高を、当連結会計年度の水準に対して105%と設定いたしました。費用面につきましては、人手不足を解消し営業の強化を図るために、人材確保にかかる費用として人件費及び採用関連費用の増加を織り込みました。

この前提に基づき試算した結果、翌連結会計年度は、売上高は11,936百万円（前年同期比5.8%増加）、営業利益は327百万円（前年同期比82.3%増加）、経常利益は434百万円（前年同期比39.4%増加）、親会社株主に帰属する当期純利益は427百万円（前年同期比275.2%増加）を見込んでおります。

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当連結会計年度 (2024年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,041,056	1,792,207
売掛金	546,777	613,906
原材料及び貯蔵品	136,166	155,430
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	160,000	80,000
その他	169,444	167,793
貸倒引当金	△54	△2,303
流動資産合計	3,053,389	2,807,034
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	652,908	622,942
工具、器具及び備品(純額)	102,824	109,329
リース資産(純額)	75,347	12,687
建設仮勘定	1,279	2,487
その他(純額)	17,061	19,553
有形固定資産合計	849,421	767,000
無形固定資産		
その他	6,295	4,374
無形固定資産合計	6,295	4,374
投資その他の資産		
投資有価証券	65,073	135,828
長期貸付金	378,101	298,101
敷金及び保証金	568,643	575,373
繰延税金資産	131,147	161,620
その他	8,719	11,851
貸倒引当金	△40,000	△46,154
投資その他の資産合計	1,111,685	1,136,620
固定資産合計	1,967,401	1,907,995
資産合計	5,020,791	4,715,029

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当連結会計年度 (2024年2月29日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	402,881	451,507
短期借入金	721,399	-
1年内返済予定の長期借入金	299,650	222,932
未払金	549,998	592,291
未払法人税等	6,746	4,201
リース債務	33,586	9,333
未払消費税等	160,908	151,100
預り金	126,806	95,565
契約負債	51,361	64,486
株主優待引当金	57,525	64,332
店舗閉鎖損失引当金	-	13,255
その他	48,313	56,192
流動負債合計	2,459,176	1,725,199
固定負債		
長期借入金	1,374,777	1,689,214
資産除去債務	804,777	815,529
リース債務	20,048	7,021
その他	58,378	60,479
固定負債合計	2,257,981	2,572,244
負債合計	4,717,158	4,297,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	375,831	375,831
利益剰余金	△121,839	△7,952
自己株式	△556	△556
株主資本合計	303,436	417,322
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	196	262
その他の包括利益累計額合計	196	262
純資産合計	303,632	417,585
負債純資産合計	5,020,791	4,715,029

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
売上高	9,780,719	11,284,519
売上原価	8,252,338	9,025,736
売上総利益	1,528,380	2,258,782
販売費及び一般管理費	1,907,218	2,078,925
営業利益又は営業損失(△)	△378,837	179,856
営業外収益		
受取利息	8,090	7,015
助成金収入	388,264	25,218
協賛金収入	72,892	34,237
持分法による投資利益	57,754	70,654
その他	46,279	30,271
営業外収益合計	573,281	167,398
営業外費用		
支払利息	28,301	18,345
支払手数料	-	14,683
株式交付費	6,083	-
賃貸借契約解約違約金	6,042	-
その他	6,732	2,728
営業外費用合計	47,159	35,757
経常利益	147,284	311,498
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	13,255
減損損失	255,755	213,045
特別損失合計	255,755	226,300
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△108,470	85,197
法人税、住民税及び事業税	6,746	1,819
法人税等調整額	△42,812	△30,508
法人税等合計	△36,065	△28,689
当期純利益又は当期純損失(△)	△72,404	113,886
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△72,404	113,886

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△72,404	113,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64	65
その他の包括利益合計	64	65
包括利益	△72,340	113,952
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△72,340	113,952
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	50,000	1,970	△145,819	△556	△94,405
会計方針の変更による累積的影響額			△4,201		△4,201
会計方針の変更を反映した当期首残高	50,000	1,970	△150,021	△556	△98,607
当期変動額					
新株の発行	237,224	237,224			474,448
減資	△237,224	237,224			-
欠損填補		△100,587	100,587		-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△72,404		△72,404
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計	-	373,861	28,182	-	402,043
当期末残高	50,000	375,831	△121,839	△556	303,436

(単位:千円)

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	131	131	△94,273
会計方針の変更による累積的影響額			△4,201
会計方針の変更を反映した当期首残高	131	131	△98,475
当期変動額			
新株の発行			474,448
減資			-
欠損填補			-
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△72,404
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	64	64	64
当期変動額合計	64	64	402,108
当期末残高	196	196	303,632

当連結会計年度(自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	50,000	375,831	△121,839	△556	303,436
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益			113,886		113,886
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					-
当期変動額合計			113,886		113,886
当期末残高	50,000	375,831	△7,952	△556	417,322

(単位:千円)

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	196	196	303,632
当期変動額			
親会社株主に帰属する当期純利益			113,886
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	65	65	65
当期変動額合計	65	65	113,952
当期末残高	262	262	417,585

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△108,470	85,197
減価償却費	187,678	186,396
減損損失	255,755	213,045
支払利息	28,301	18,345
受取利息及び受取配当金	△8,108	△7,032
持分法による投資損益(△は益)	△57,754	△70,654
貸倒引当金の増減額(△は減少)	33	8,402
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△618	6,807
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	-	13,255
売上債権の増減額(△は増加)	△170,604	△67,129
未収入金の増減額(△は増加)	62,236	457
棚卸資産の増減額(△は増加)	△17,183	△19,264
前払費用の増減額(△は増加)	4,945	△23,101
仕入債務の増減額(△は減少)	131,756	48,625
未払金の増減額(△は減少)	52,953	25,046
未払消費税等の増減額(△は減少)	125,949	△9,807
預り金の増減額(△は減少)	4,763	△31,240
その他	10,798	1,083
小計	502,431	378,434
利息及び配当金の受取額	37	35,291
利息の支払額	△27,603	△17,016
法人税等の支払額	△4,186	△4,398
営業活動によるキャッシュ・フロー	470,679	392,309

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△204,093	△264,123
貸付金の回収による収入	-	160,000
敷金及び保証金の差入による支出	△8,361	△41,522
敷金及び保証金の回収による収入	13,980	32,623
資産除去債務の履行による支出	-	△7,340
その他	△6,515	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△204,989	△120,363
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△353,250	△721,399
長期借入れによる収入	-	586,223
長期借入金の返済による支出	△141,655	△348,504
リース債務の返済による支出	△35,717	△37,115
株式の発行による収入	468,365	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,257	△520,795
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	203,432	△248,849
現金及び現金同等物の期首残高	1,837,624	2,041,056
現金及び現金同等物の期末残高	2,041,056	1,792,207

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、外食事業を主な事業として展開しており、各事業会社の運営する店舗の業態を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「XEXグループ」及び「カジュアルレストラングループ」の2つを報告セグメントとしております。

「XEXグループ」は、高級レストラン「XEX」(ゼックス)をはじめとするレストランの展開を行っており、「カジュアルレストラングループ」は、「PIZZA SALVATORE CUOMO」をはじめとするカジュアルレストランの展開を行っております。

各セグメントに属する主な店舗は、以下の通りです。

(1) XEXグループ

- ①XEX
- ②The Kitchen Salvatore Cuomo 名古屋
- ③The Kitchen Salvatore Cuomo 京都

(2) カジュアルレストラングループ

- ①PIZZA SALVATORE CUOMO
- ②SALVATORE CUOMO & BAR
- ③PIZZA SALVATORE CUOMO & GRILL
- ④Steak The First
- ⑤Paul Bassett
- ⑥The Kitchen Salvatore Cuomo 銀座

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一です。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	XEXグループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,856,901	5,923,817	9,780,719	-	9,780,719	-	9,780,719
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	3,856,901	5,923,817	9,780,719	-	9,780,719	-	9,780,719
セグメント利益又は 損失(△)	166,207	300,978	467,185	△2,273	464,912	△843,749	△378,837
その他の項目							
減価償却費	93,075	81,763	174,839	1,336	176,175	11,503	187,678

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、休眠中の人材派遣事業を含んでおります。

2 セグメント損失(△)の調整額△843,749千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

- 4 セグメント資産、負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象とはなっていないため、記載しておりません。

当連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結財務諸表 計上額 (注) 3
	XEXグループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,566,552	6,717,967	11,284,519	-	11,284,519	-	11,284,519
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	4,566,552	6,717,967	11,284,519	-	11,284,519	-	11,284,519
セグメント利益又は 損失(△)	395,643	676,337	1,071,980	△2,280	1,069,700	△889,843	179,856
その他の項目							
減価償却費	86,650	87,024	173,674	1,336	175,010	11,385	186,396

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、休眠中の人材派遣事業を含んでおります。

2 セグメント損失(△)の調整額△889,843千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 セグメント資産、負債の金額は経営資源の配分の決定及び業績を評価するための定期的な検討の対象とはなっていないため、記載しておりません。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2022年3月1日 至 2023年2月28日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高に占める割合が10%を超える顧客がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

連結損益計算書の売上高に占める割合が10%を超える顧客がないため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年3月1日 至 2023年2月28日）

（単位：千円）

	報告セグメント		その他	調整額	合計
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ			
減損損失	194,624	61,130	-	-	255,755

当連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

（単位：千円）

	報告セグメント		その他	調整額	合計
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ			
減損損失	94,814	118,231	-	-	213,045

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年3月1日 至 2023年2月28日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2022年3月1日 至 2023年2月28日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2023年3月1日 至 2024年2月29日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
1株当たり純資産額	92円06銭	126円61銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり 当期純損失(△)	△23円77銭	34円53銭

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年2月28日)	当連結会計年度 (2024年2月29日)
純資産の部合計額(千円)	303,632	417,585
普通株式に係る純資産額(千円)	303,632	417,585
純資産の部の合計額と1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式に係る連結会計年度末の純資産額との差額の主な内訳(千円)		
新株予約権	—	—
普通株式の発行済株式数(株)	3,298,400	3,298,400
普通株式の自己株式数(株)	236	236
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	3,298,164	3,298,164

3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年3月1日 至 2023年2月28日)	当連結会計年度 (自 2023年3月1日 至 2024年2月29日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する 当期純損失(△)(千円)	△72,404	113,886
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社 株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△72,404	113,886
普通株式の期中平均株式数(株)	3,045,829	3,298,164
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期 純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。